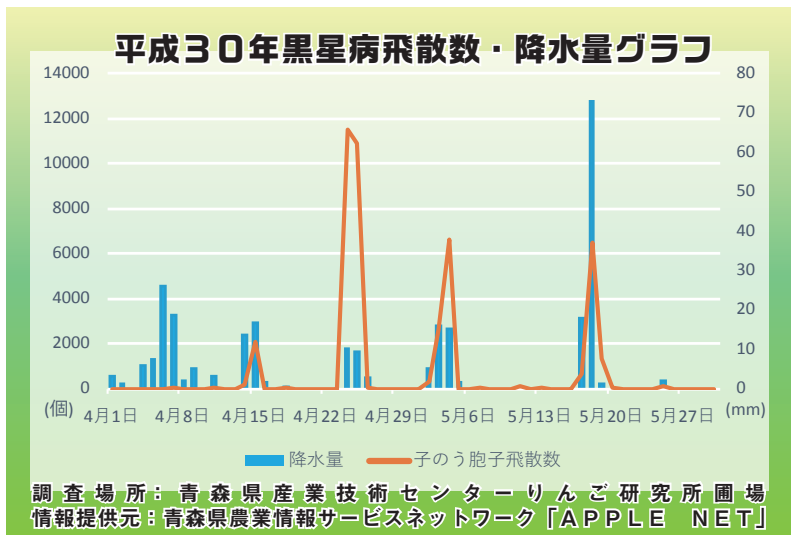
ひろかだより

第311号
平成30年6月15日
発　行
弘果 弘前中央青果株式会社
弘前市大字末広１丁目２-１
ＴＥＬ　0172-27-5511
ＵＲＬ　http://www.hiroka.jp



調査場所：青森県産業技術センターりんご研究所圃場
情報提供元：青森県農業情報サービスネットワーク「ＡＰＰＬＥ　ＮＥＴ」

黒星病注意報発令

被害葉・被害果の摘み取り及び適切な処分を行い薬剤散布を徹底しましょう！

津軽地域では、黒星病の発生が広く確認されています。

青森県産業技術センターりんご研究所の圃場では、４月７日から黒星病子のう胞子飛散が確認され、同月24日、25日に飛散のピークを迎え、その後は降雨の度に飛散が確認されています。

今後の対策として、菌密度が高く、被害葉・被害果（ツル）からの分生子は飛散量が多いと考えられるため、薬剤散布の徹底と、実すぐりと同時に樹上の被害葉・被害果（ツル）も一緒に摘み取り、土中に埋める等、適切に処分し、感染源を減らしましょう。

アムさんメロン初競り

一玉あたり過去最高値 10万円

当社オリジナルブランド「つがりあん」メロン「アムさん」の初競りが６月８日、当社第１卸売場に於いて行われ、秀品１箱（２玉入り）に20万円の値が付き、１玉あたりの過去最高値を記録、会場がどよめき、歓喜に沸いていました。

同日は五所川原市の阿部祐一さん、中泊町の松橋尚子さんが、つがる市木造地区のハウスで温泉熱を利用して栽培した計48ケース（２５３キロ）が上場されました。阿部さんによると、今年は昨年と比べ２日早い定植となりましたが、生育期の日照不足等、天候の影響で玉伸びが進まず、全体的に小玉傾向ですが、栽培管理を徹底したことで、糖度が高く、食味、品質良く仕上がったとの事でした。

午前７時から青森オリジナルメロン生産連絡協議会木村文信会長の挨拶が行われ、その後競売に入り、買参人が次々と競り落としました。１キロ当たりの平均単価は、小玉傾向で小箱が多いながらも４８４６円と堅調な取引となりました。

当社果実担当者は今年の初競りについて「美味しくて高品質な『アムさん』メロンのブランドが浸透し、引き合いが強いことが今日の取引に反映された」と総括し、１玉あたり過去最高値で取引されたことに阿部さんは「アムさんメロンの栽培を始めて10年、長年の仕事を評価していただいた結果と受け止め感謝しています」と感慨深く話していました。

「アムさん」は７月上旬に出荷のピークを迎えます。

１玉あたり過去最高値を付けた「アムさん」

「弘果友の会」設立総会

分野や業種を超えた地域企業が集まり、弘果及び津軽りんご市場の出荷登録番号票カードを所持している方を対象に、商品の割引等の独自のサービスを伴う業務を行うことを目的として結成された「弘果友の会」が５月31日、弘前市のアートホテル弘前シティに於いて設立総会を開催しました。

同会の設立には14の地域企業が参加。関係者約30名が出席した総会では、当社大中忠社長が「初めての試みとなるこの事業が、生産者と参加企業の双方が実質的なメリットを享受した『ｗｉｎ－ｗｉｎ（ウィンウィン）の関係』を構築することを期待します」と挨拶、その後、事業計画が審議・承認され、初代会長に株式会社工藤酸素店の工藤良一代表取締役が就任しました。

「弘果友の会」設立総会の様子

各社が提供するサービス等についての情報は、６月から当社ホームページで公開しており、当紙（ひろかだより）では７月号から特集ページを設けて掲載していきます。

弘果

弘果友の会
QRコード

参加企業（14社）

☆（有）外川農機商会
☆いすゞ自動車東北（株）弘前支店
☆（株）工藤酸素店
☆（株）佐藤長
☆（株）オートコム
　オートバックス弘前東店
☆（株）小林紙工
☆（株）栄研　在宅事業課
☆あおば登記・法務事務所
☆（株）ムジコクリエイト
　弘前モータースクール
☆（有）くまばん
☆エステサロン
　RiとBiのたまご
☆（有）アサヒ印刷
☆（株）日本チケット
　アネックス
☆カフェレストラン
　デュボワ

弘果グループ６社合同 定時株主総会

弘果弘前中央青果（株）（第47期）、（株）弘前水産地方卸売市場（第29期）、（株）弘果物流（第28期）、（株）津軽りんご市場（第25期）、（株）弘前花き（第18期）、弘果総合研究開発（株）（第14期）の６社合同による株主総会が５月29日、弘前市のホテルニューキャッスルに於いて開催されました。

総会では、各社とも全ての議案について満場異議なく承認されました。

弘果、津軽りんご市場、弘前水産地方卸売市場では任期満了に伴う役員改選が行われ、津軽りんご市場では、進藤政光取締役退任に伴い、對馬智範氏、齋藤嘉章氏が新取締役に就任。弘前水産地方卸売市場では、齋藤鐵己取締役退任に伴い、沢田正樹氏が新取締役に就任。各社の現取締役、監査役は再任となりました。

弘前花きでは、遠藤勇二取締役退任に伴い、橋本芳昭氏が新取締役に就任しました。

津軽りんご市場
對馬智範取締役

津軽りんご市場
齋藤嘉章取締役

弘前水産地方卸売市場
沢田正樹取締役

弘前花き
橋本芳昭取締役

夏秋いちご「森のひかり」目揃え会

夏秋いちご「森のひかり」は、果実の形が良く、鮮やかで美しい紅色が特徴です。

同品種収穫の本格化に向け5月29日、「弘果いちご栽培研究会」（齋藤良彦会長）主催の目揃え会が当社に於いて行われ、生産者約20名が出荷の目安となる、色、大きさ、形状を確認しました。

齋藤会長は「夏秋いちごは他の施設園芸と比較して初期投資が掛からず、気候的にも北国での栽培に向いています。特に『森のひかり』は高品質で将来性があると考えていますので、今後生産量を増やしていきたい」と話していました。

「森のひかり」について、栽培から販売までのお問い合わせは、当社農産指導課及び果実部までお願いいたします。

出荷の目安を確認する生産者

「農」の「業」を継ぐ 期待の後継者

家業である「農業」に希望を見出し、夢に向け努力する期待の後継者を紹介します。

村山 誠也さん（35）

【家族構成】両親、妻、子供1人、祖母の6人家族
【住所】板柳町狐森
【作付状況】りんご1.1ヘクタール
【就農年】2014年
【きっかけ】りんご園地を遊び場として育ち、将来の進路を考える際はりんご農家に興味がありましたが、高校卒業後は営業職のサラリーマンとして働き、農繁期に家業の手伝いをしていました。ある時、地域のりんご農家の先輩方と話をする機会があり、仕事に懸ける思いに感銘を受け「園地を守り、家業を継ぐ」という意識が芽生え、サラリーマンを続けるか葛藤しましたが決心し、本格的に就農しました。
【現在】青森県りんご協会の基幹青年としての研修や津軽りんご市場連絡協議会青年部での活動で、地域、世代を超えた仲間が増えました。仲間がいることで良い刺激となり、日々の仕事のモチベーションの高さにも繋がっています。
【夢・展望】「家族経営」できる現在の規模をしっかり守り、品質の良いりんごを生産していく。
【座右の銘】「為せば成る」物事はやらなければ何も始まらないので、先ずは始めてみること、そして「やれば出来る」気持ちを持って、仕事、そして人生に取り組みたい。

メロン栽培後継者育成事業 五農生 ハニーゴールデン定植

丁寧に定植を行う生徒達

青森オリジナルメロン生産連絡協議会（木村文信会長）と当社では5月29日、五所川原農林高校生物生産科1年生35名を対象に、つがりあんメロン「ハニーゴールデン」の苗150本の定植を行いました。

同協議会の後継者育成事業の一環として今年で13年目を迎えたメロン栽培実習は、同校の園地（約5アール）で行われ、生徒は当社農産指導課の指導を受け、定植に臨みました。

農業用ビニールで覆われた土に穴を開けるところから始まった実習では、生徒達が役割分担をし、ぎこちない手つきながらも、一生懸命励んでいました。

実習を終え青山聖奈（せいな）さんは「苗の向きに気を付け丁寧に定植したつもりでしたが、『深植え』が目立つとの指摘を受け、作業のコツや奥深さを再認識しました。今後の栽培管理をきちんと行い、高品質で美味しいメロンを収穫したい」と話し、家業がメロン農家の柴谷星南（せいな）さんは「家業への理解を深める良いきっかけとなりました」と話していました。

生徒達は今後、栽培、収穫、出荷と一連の流れを実習する予定です。

シャインマスカット栽培講習会

講師の実演から熱心に学ぶ参加者

当社農産指導課では6月8日、オリジナルブランド「つがりあん」シャインマスカットの栽培技術向上を目的として、弘前市独狐の五十嵐昭義氏ハウスにて講習会を開催しました。

生産者約50名が参加した講習会では、芽欠き、摘芯、花穂整形や無核化処理（種抜き）のポイントが説明され、参加者は栽培技術向上に向け熱心に学んでいました。

栽培者募集

当社では、シャインマスカットの栽培者を募集しております。

栽培について、新規栽培者にも取り組み易く、雨除け栽培や、水稲育苗ハウス等を有効活用できる利点があります。また、当社で年に数回、高品質生産を目指した栽培講習会や出荷目揃え会を行う等、栽培から販売まで丁寧に指導しています。

栽培を希望する方は、当社農産指導課、または果実部までご連絡ください。

「森のバナナ」売上の一部を寄付

当社では5月21日、「ハローキティ森のバナナ」寄付金贈呈式を行い、29年度販売分より29万4852円を、白神山地財団（渋谷拓弥理事長）に寄付しました。

「ハローキティ森のバナナ」は、平成19年11月より世界自然遺産白神山地の環境保全活動に役立ててほしいという願いから、青森県全域と秋田県の一部で販売しており、売上金額の一部（1パック1円）を寄付しています。

同日は渋谷理事長に、青果部門担当役員の八木橋宏弥常務が寄付金目録を手渡しました。

渋谷理事長は「今年で白神山地が世界自然遺産登録25周年を迎えるので、もっと白神山地の事を知ってもらえる様、記念事業等に役立てたい」と話していました。

スコーレ 設立30周年の節目祝う

設立30周年を迎えて大中廣社長が挨拶

弘果グループの株式会社スコーレ（大中廣代表取締役社長）が設立30周年を迎え6月2日、弘前市のラグリーに於いて記念パーティが行われました。

同社は不動産賃貸事業を中心に、アミューズメント事業、ショッピング事業、飲食業を展開、2008年に弘果が株式の50%を取得し、グループの一員となりました。

関係者約80名が出席したパーティでは、同社のあゆみを映像で振り返り、大中廣社長が「事業を通して、生まれ育った地域社会への貢献、そして更なる飛躍を目指していきたい」と力強く挨拶、会場は祝賀ムードに包まれ、節目の年を祝いました。

弘果木造地区集荷所オープンのお知らせ

木造集荷所（南広森）

【営業開始】6月24日（日）～
【電話】0173（26）3880
【営業時間】午前8時～午後5時
【野菜・果実トレサビ受付】6月25日（月）28日（木）
【受付時間】午前11時～午後3時30分

菰槌集荷所

【営業開始】7月1日（日）～
【電話】0173（45）3460
【営業時間】午前8時～午後5時
【野菜・果実トレサビ受付】7月2日（月）5日（木）9日（月）12日（木）17日（火）
【受付時間】午前11時～午後3時30分

生産者憩いの集い 開催のお知らせ

7月3日（火）午前11時から菰槌集荷所にて開催！

皆様のご来場お待ちしております。